

当院 GICU で治療を受けられた患者さん及びその家族の方へ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	周術期における術前 SGLT2 阻害薬と正常血糖ケトアシドーシスの関連
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 道勇 学
担当科等	周術期集中治療部
研究責任者	教授 藤田義人
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	非該当
研究の意義・目的	<p>糖尿病治療薬 SGLT2 阻害薬の合併症にケトアシドーシス（ケトン体と呼ばれる代謝産物が産生され、血液が酸性に傾く病態です）があります。そのため周術期では手術 3 日前に中止が推奨されています。その一方、SGLT2 阻害薬は心不全の治療薬でもあるため、循環動態維持には手術直前までの投与が望ましいとされています。ただ実際にどれほどの割合でケトアシドーシスが出現しているかは定かではありません。今回、これまでの手術での SGLT2 阻害薬を内服している患者さんの周術期におけるケトアシドーシスの出現を調査します。</p> <p>当院で外科手術後および集中治療を必要として GICU で治療された患者さんで、糖尿病治療で SGLT2 阻害薬を内服されていた患者さんの術後の採血の検査結果を調査してケトアシドーシスが出現していたかどうかを検討することを目的としています。</p>
対象となる患者さん	2014 年 6 月から 2021 年 12 月までに手術を受けられ術後 GICU に入室された患者さんのうち、術前に糖尿病で治療を受け SGLT2 阻害薬を内服されていた患者さんです。
利用の方法	該当する症例の電子カルテデータをさかのぼり調査するものです。研究計画および、研究の方法に関して説明を受けることができます。下記問い合わせ先まで申し出てください。
研究期間	研究実施承認日 ~ 2022 年 12 月 31 日
研究に用いる試料・情報	情報：カルテ情報を収集します。患者背景として、男女、年齢、身長、体重、糖尿病の有無、内服薬の種類などです。検査の値として、血液ガス分析、血糖値、腎機能などです。
外部への試料・情報	なし。

の提供	
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2022年9月31日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。2022年9月31日まででしたら研究への参加、情報提供を拒否することが可能です。
その他	
問い合わせ先	愛知医科大学周術期集中治療部 担当者：教授 藤田義人 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 37703）